

(仮称) 若穂スマートインターチェンジ地区協議会

設立趣意書

長野市は、日本のほぼ中央にある長野県の北部に位置し、妙高戸隠連山国立公園をはじめとする美しい山並みに抱かれ、日本最長の千曲川（下流は信濃川）とその支川である犀川により形成された長野盆地（善光寺平）を中心に立地し、総面積は 834.81km² を有します。

広域交通網としては、北陸新幹線、上信越自動車道が走り、市の南部では長野自動車道にも接し、東京圏、名古屋圏等の大都市と日本海沿岸地域を結ぶ拠点都市として、また、総合的機能を備えた地方中核市として重要な位置にあります。

上信越自動車道には、長野市松代地先に長野 I C、本市と須坂市境に須坂長野東 I C がありますが、両 I C 間は出入り交通が県内トップで、I C 周辺で混雑が発生するなど需要が集中しています。また、若穂地域は両 I C の中間地点にあり、高速道路へのアクセス性に課題がある地域となっています。

そのため、当地域にスマート I C を整備することで、住民の高速道路の利便性向上、地域産業の活性化、善光寺などの観光振興、救急医療・防災まちづくりの支援や一般道路の混雑緩和など多くの効果が期待されています。

については、国土交通省、長野県、長野県警察本部、東日本高速道路株式会社等の関係機関と連携して、スマート I C の設置に向けて必要な調整、検討を行い、開通後も継続して安全性、採算性、管理・運営方法等を定期的にフォローアップし、必要に応じて見直す場として「(仮称) 若穂スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

令和 2 年 9 月 8 日

長野市長 加藤 久雄